



アレクセイ・ナイデョーノフ(チェロ) Naidenov Aleksei

1968年旧レニングラード生まれ(現在サンクトペテルブルク)

6歳から、レニングラード国立音楽学校(リムスキーコルサコフ)に入学、その後モスクワ音楽院附属音楽学校を経て、モスクワ音楽院にてN.Shyahovskaya に師事する。卒業後1992年からユーリ・ヴァシシュメット率いる室内楽オーケストラソリストモスクワのコンサートマスター。現在に至る。今までロシア国内、アメリカ、日本、ヨーロッパ、オーストラリアで演奏する。ユーリ・ヴァシシュメットと共に、トゥール(フランス)、ドイツ、エルバ(イタリア)メン(イギリス)などの音楽フェスティバルに出演。共演者に、ヴァシシュメット、ナタリヤ・グッドマン、レービン、トレチャコス、アルグリッチなど。ソリストモスクワは、2008年グレミー賞を受賞した。2019年からは、モスクワShnitke音楽院でも後進の指導にあたる。



ドミトリー・フェイギン(チェロ) Dmitry Feygin

チェリスト、ドミトリー・フェイギンは、有名なチェリストであった父、ヴァレンティン・フェイギンと、有名なチェロ教師であった母、ガリーナ・ズーヴァレヴァのもとに、モスクワに生まれる。その後、モスクワ音楽院中央付属音楽学校にて英才教育を受け、後にモスクワ音楽院へ入学、同大学院を卒業。その間、父にチェロを、室内楽をシヨスタコヴィッチ四重奏楽団のチェロ奏者アレクサンドル・カルチャーギンに、ピアニストのティグラム・アリハーノフに師事する。最近では、小林研一郎、広上淳一など世界的に有名な日本人指揮者などと日本のオーケストラとも共演する。さらに韓国やベトナムなどの有名なオーケストラとも共演する。現在、日本を始めロシア、韓国のコンクールの審査員や、さらに中国やアジアを中心に公開レッスンなども行う。ロシア、日本やアジアを中心にソロや室内楽で活躍している。2016年にシューベルト、アルペジオーネ・ソナタ他CDをリリース。2018年には、バッハ無伴奏チェロ組曲全曲CDをリリース、全曲演奏会を行った。2019年には無伴奏チェロ曲集をリリース、特選版に選ばれている。2021年デュオフェイギンで、ロシアンアルバムCDを新たにリリースする。現在東京音楽大学教授。



新見フェイギン浩子(ピアノ) Hiroko Feygin Niimi

大阪に生まれる。桐朋学園高等音楽学校に入学する。その後、ハンガリー・ブダペスト、リスト音楽院にてピアノを、ナードル・ジョルジュやゾルタン・コチシュなどに師事する。その後、1990年からモスクワ音楽院に研究生として入学。ピアノを、ドミトリー・バシキーロフ、セルゲイ・ドレンスキー、室内楽を、前モスクワ音楽院長であったティグラム・アリハーノフ、ヴァレンティン・フェイギンなどに師事する。その間、旧レニングラードで開催されたシヨスタコヴィッチ室内楽コンクール(デュオで夫であるチェリストのドミトリー・フェイギンと)やソロではイタリアのヴィオッティ国際ピアノコンクールなどで賞を受賞する。

1990年からドミトリー・フェイギンと共演する。2010年の3月に催された同シリーズ演奏会は、モスクワ国立フィルハーモニア協会の批評家たちから大変な好評を博した。2006年から2011年までくらしき作陽大学音楽部で後進にもあたる。2015年4月から東京音楽大学附属高校講師。2020年から東京音楽大学非常勤講師。

2024.

6/6 木

開場18:30 開演19:00

サロン・ド・パッサージュ
江戸川橋駅 4番出口より 徒歩1分30秒

チケットお申し込み・お問い合わせ

050-7123-5471

